

- ・2回培土を確実に実施し、雑草抑制し、初期生育を確保しましょう！
- ・培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう！

1. 培土

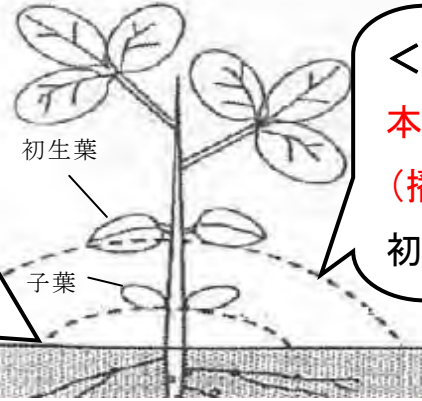
○2回培土を確実にを行い、初期生育を確保するとともに雑草の発生を抑えましょう。

培土の効果(1石4鳥!)

- ・根域の拡大、根粒の増加
- ・雑草抑制
- ・排水の促進
- ・倒伏防止

<1回目>

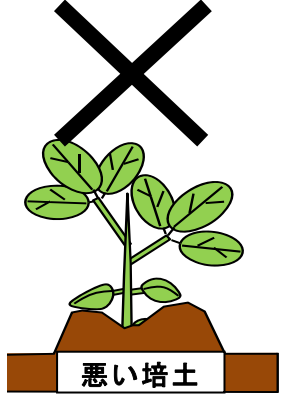
本葉2～3葉期
(播種後20～25日頃)
子葉が埋まる程度



<2回目>

本葉4～5葉期
(播種後30～35日頃)
初生葉が埋まる程度

株元までしっかり土をかけよう！



【培土作業のポイント】

- ◆作業前に、培土板の調節や耕うん爪を必ず点検(擦り減った爪は交換)しましょう。
- ◆乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
- ◆培土でできた溝は、その日のうちに額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、速やかに排水されるようにしましょう。



2. 雑草防除

- 雑草の種類を確認し、雑草に薬剤が十分かかるように散布しましょう。
- 畦間処理をする場合は、吊り下げノズルを使用し、大豆にかからないよう十分注意しましょう。

表1 草種別除草剤

対象雑草名	薬剤名	使用時期	使用方法	10a当たり散布量	本剤使用回数
1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ポルトフロアブル	イネ科雑草3～10葉期 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉 散布又は 全面散布	薬量 200～300ml (水 50～100lで希釈)	1回
1年生広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤	大豆2葉期～開花前 (雑草生育初期～6葉期) 但し、収穫45日前まで		薬量 100～150ml (水 100lで希釈)	
1年生雑草	バスタ液剤 (非選択制除草剤)	本葉5葉期以降、雑草生育期 但し、収穫28日前まで	畦間・株間 処理	薬量 300～500ml (水 100lで希釈)	3回以内
	ロロックス (非選択制除草剤)	本葉3葉期以降、雑草生育期 (雑草草丈15cm以下) 但し、収穫30日前まで		薬量 100～200g (水 70～150lで希釈)	1回

※周辺の作物に飛散しないよう注意

◎難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止対策

管内では、近年、帰化アサガオ類や、イヌホオズキ類等の難防除雑草の発生が増加しています！

○難防除雑草(帰化雑草等)の発生がみられたら、**雑草が小さいうちに手取り除草又は除草剤で早めに防除しましょう。**

○抜き取った場合、株はそのまま放置せず、**ほ場外で適切に処分しましょう。**

○刈り払う場合は、再生防止のために**地際から**行いましょう。

表2 難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止体系

大豆生育ステージ	播種	2葉期	3葉期	4葉期	5葉期
大豆生育ステージ	6/1(0)	6/20(+19)	6/25(+24)	7/1(+30)	7/6(+35)
帰化アサガオ類 防除作業	△	△	△	△	△
土壤処理除草剤 (0)		大豆バサグラン (+19～+23)	1回目培土 (+20～+25)	2回目培土 (+29～+34)	バスタ 7/6～(+35～)
大豆生育ステージ	6/1(0)	6/20(+19)	6/25(+24)	7/1(+30)	7/6(+35)
ヒコ類、イヌホオズキ類 防除作業	△	△	△	△	△
土壤処理除草剤 (0)		1回目培土 (+19～+25)	ロロックス* (+20～+25)	2回目培土 (+29～+34)	バスタ 7/6～(+35～)

※1回目培土で残った株間の雑草をロロックスで早期に(雑草草丈15cm以下で)防除

令和4年度 富山県農薬危害防止運動(6月15日～9月15日)
～農薬は 周りに配慮し 正しく使用～

★富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています★
<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/> こちらで検索！

JA 富山市 営農情報

熱中症に注意！
適切な水分補給、
こまめな休憩
をしよう！